



九州大学小児口腔医学分野  
教授 野中 和明  
nonaka@dent.kyushu-u.ac.jp

## 『成長と老い』

学会員の方々や役員の先生に支えていただきながら、日本小児歯科学会九州地方会会長職(平成20年度～平成21年度の)も1年間が過ぎました。普段に思っていることを厚顔な思いで書き留めていますので、どうかご笑止下さい。

小児歯科医療の研修を志す若い人材の不足が、全国的な問題となっています。これを改善するには、小児歯科口腔保健法の制定や小児歯科医療における診療報酬の改善を含めた小児歯科医療の枠組みの改革が必要です。また同時に、私たち小児歯科医師が小児口腔医学・小児歯科学の魅力を生産さんと研修医にどのように楽しく伝えることが出来るかの重要性を痛感しています。小児口腔歯科医療に携わる私たちは、次世代を担っていく社会の宝である『子ども達の未来を守る』という使命と責任を担っています。『子ども達が未来を開拓していく』ことに携われる医療は実に素晴らしいものです。私自身、大学を卒業して小児歯科を志して30年間『志半ばですが、小児歯科の道を選んでいつも楽しくまた充実した時間を過ごしている』との幸福感を持ち続けることが出来ています。このような楽しい気持ちを素直に若者に話しかけていく時間と努力が求められています。私も含めて話し下手な中高年が増えましたね。

現代社会は機能性と合理性を追求しながら、地球環境にも社会的人間関係にもさまざまな影響を与えているようで、私もいつも当惑させられています。そのような中でも『親子』の縁、それは最も基本的人間関係であり、小児歯科医療での基本要素でもありますので、その変遷に興味を持ち続けてきました。私も二人のこどもの親になり、その子ども達も今や成人式を迎えました。やがては親元を離れて世界のどこかで自立した生活をする事になります。長いようで短いような親子で過ごしている時間です。その間に私には沢山の親子で共有した感動を与えられ、暖かい思い出も積み重ねることが出来ました。今日まで、そして今も支えていただく方々に感謝あるのみです。

子どもの成長は、また同時に自分自身の老いをも意味しています。誰にもいつかは訪れる「老い」という現実。健康で機嫌良く暮らせるには、「感覚を磨き、笑って生きる」とある著名人は言います。頭髪もほぼ消失した私は、年相応に上手に老いる術を身につけていく時期に直面しています。呉々も「キレル老人」の仲間入りで、家族や周囲に迷惑をかけることのないように事前準備が進行中です。最近の出来事を通して、『人の力で何とかなることと、何ともならないこと』を仕分けることが出来るように心掛けています。不測の事態を『仕方ない』という気持ちでやりすごす感覚を持てること。これは苦しい選択ですが、普段から感覚を磨いて受け入れることが出来るようになれば、現代人の陥りやすい孤独感や不幸福感から回避できると思います。

今後とも九州地方会のさらなる発展のために、学会員の皆様と共に行動して行きましょう。更なるご批評とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 副会長挨拶



九州歯科大学口腔機能発達学分野  
教授 牧 憲司

昨年より野中和明会長のもとで副会長を務めさせていただいております九州歯科大学の牧です。早いもので野中執行部体制も1年半を経過しました。

日本の歯科界を取り巻く環境は、激動化しております。特に少子・高齢化社会における小児歯科の現状は、大学機関や開業医を問わず大きな影響を受けております。従来、臨床に関するEBMが不足している点が、歯科界の大きな欠点であり、保険点数の改正にあっても現場の状況があまり反映されてない実情だと思います。小児歯科領域においてもご多分に漏れずで、昨年4月の保険改定の実施におけるラバーダム算定そのものの廃止(初診料・再診料に包含され

る)等による実質的点数削減がありました。これに対応すべく日本小児歯科学会本部においても、EBM作製を朝田理事長のもと、学術委員会、医療委員会等を中心に急ピッチで行われております。また地方会の在り方も本部との関わりを含めて改めて見直されております。九州地方会は発足後27年の歴史を持ち、会員数も530名、研究会も13団体あり、非常に充実しております。EBM作製に関しては、5大学を中心に可能な限り学会本部との連携を図り、多くのデータを集積し、論文作製等、形に残るものになりたいと考えております。また野中会長を中心とした執行部は、機構整備や学術関係、小児科との医療連携強化等様々な観点から事業計画をactiveに進めております。これらのことは九州地方会の特色や存在意義を、一層高めることに繋がるものであると確信しております。

今後も会員の皆様方からご意見をいただき、可能な限り反映させていきたいと考えております。最後になりましたが、本年11月22日(日)に北九州市小倉の九州歯科大学にて開催される第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会にて皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

## 第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会報告

日 時：平成20年11月23日(日)

場 所：沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）

第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会（大会会長 本川 渉、準備委員長 竹島 勇）が、福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野が担当し、平成20年11月23日(日)に沖縄県宜野湾市の「沖縄コンベンションセンター」で開催しました。大会では、特別講演、国際シンポジウム、一般シンポジウムおよび衛生士シンポジウムを中心に、一般発表（展示発表36題（内専門医発表3題、英文発表9題）により行われました。当日は九州地区で最も遠路な沖縄にも係わらず、歯科医211名、衛生士、その他86名の皆さんに参加していただきました。

今回の特別企画では、一昨年度に調印式が行われた日韓国際交流調印に準じて、韓国小児歯科学会に学会参加を呼びかけたところ、延世大学 崔(チェ)韓国小児歯科学会会長を始め、多数の役員と会員の皆様に参加していただき、7題もの演題を登録していただきました。また、本学会で企画しました国際シンポジウムでは、日韓の歯科事情をメインテーマに、日本からは岡本 誠先生、韓国からはKwon Byung Woo先生に両国の小児歯科医を代表していただき御講演をお願いしましたところ、活発な討議がなされました。これを機会に、日本小児歯科学会九州地方会と韓国小児歯科学会とがより深い絆で結ばれることを願っています。また、東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育学講座の福本 敏教授には「歯科再生医療の最先端」と題する特別講演をしていただきました。その他にも一般シンポジウムで、「より高度な小児歯科医療を目指して」をメインテーマに河田安史先生に「今日の乳歯歯内療法の限界と可能性」と題するご講演を、また森下 格先生には、「(咬合誘導) 口腔成育を担う歯科医療」と題する講演をしていただきました。特別講演ならびに各シンポジウムは大変好評で、沖縄県の歯科医師会からも多数の参加者を得ました。各講演者の先生方には心から感謝申し上げます。

今回、福岡歯科大学の成育小児歯科学分野が遠く離れた沖縄の地で九州地方会を開催出来たのも、ご後援をいただいた沖縄県歯科医師会の役員の方のお力と準備委員長の竹島 勇先生のお陰です。また、遠路わざわざ展示と広告をいただきました企業の皆様と関係各位に感謝いたします。これを機会に沖縄県の小児歯科医療が益々活性化されることを祈念いたします。 (尾崎正雄 記)



第 26 回九州地方会総会の開催風景



国際シンポジウム演者の Woo 先生と  
座長の韓国全北大学小児歯科 白教授および  
九大 野中教授による感謝状の授与

## 第26回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

日時：平成20年11月23日(日)9:00～

場所：沖縄コンベンションセンターA棟 A会場

1. 開会の辞 牧 憲司 副会長
2. 会長挨拶 野中和明 会長
3. 第26回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶 本川 渉 大会長
4. 平成20～21年度役員紹介
5. 議長選出  
熊本県開業の入江英仁先生が選出された。

### 議 事

- 1) 第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計決算報告  
藤原 卓 幹事より報告が行われた。
- 2) 平成19年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告  
西田郁子 幹事より報告が行われた。
- 3) 第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会決算および平成19年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算監査報告  
有田信一 監事より会計監査報告が行われ、一括して承認された。
- 4) 第28回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地について  
野中和明 会長より九州大学が主管で福岡市にて行われる旨報告があり、承認された。
6. その他
  - ・専門医認定委員会が認定する地域研修会について 藤原 卓 幹事
  - ・第27回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶 牧 憲司 次期大会長
7. 閉会の辞 久芳陽一 副会長

## 平成20年度専門医セミナーの開催報告

セミナーコーディネーター：牧 憲司

平成20年4月27日(日)に九州歯科大学本館にて、日本小児歯科学会専門医セミナーベーシックコースが約100名の参加者で開催されました。座長は私、牧 憲司が務めさせていただきました。最初の講師としては、「小児歯科における齲蝕予防」と題しまして日本小児歯科学会常務理事で、おく小児矯正歯科医院院長の奥 猛志先生に齲蝕リスクチェックシステム『ステファナリシス』の解説を中心に、ユーモアも交えながら貴重な講演をしていただきました。専門医の先生方にとっても明日からの齲蝕予防実践に大いに役立つ内容だったと思います。次に東京医科歯科大学大学院歯学研究科教授の高木裕三先生に「歯の外傷の処置」と題しまして、診断、処置、予防について詳細に理論に基づいた、臨床例を多数御紹介いただきました。特に幼若永久歯陥入受傷時の対応（牽引量）を最新のトピックスと、ご自身の症例の統計データをご紹介いただいたのは特に印象的でした。会場から両講師の講演に対して活発な質疑応答が生まれて、有意義なセミナーとなりました。

## 第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のお知らせ

大会長 牧 憲 司  
準備委員長 西 田 郁 子

第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を、「子どもたちの健全な咬合育成を目指して」をメインテーマとして、下記の要領で開催いたします。多数の皆様にご参加いただきたく、ここにご案内申し上げます。

大会期日：平成21年11月22日(日)

会 場：九州歯科大学 講堂および本館

〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴2-6-1

TEL 093-582-1131 FAX 093-583-5383

<http://www.kyu-dent.ac.jp/>

### 大会内容：

#### 特別講演 I

「小児の歯列の側方緩徐拡大の臨床」佐橋喜志夫 先生（さばし矯正小児歯科）

#### 特別講演 II

「歯科領域における画像診断の進歩」森本泰宏 先生（九州歯科大学教授）

#### テーブルディスカッション

1. 「小児期の機能的顎偏位症例に対する咬合管理」小川晴也 先生（小川矯正歯科）
2. 「3D-CTを用いた上顎埋伏犬歯の臨床 —その診断と早期治療について—」  
仲村陽平 先生（カノミ矯正・小児歯科クリニック）
3. 「生活者の視点で子どものカリエス治療を考える」田中克明 先生（田中こども歯科医院）
4. 「異所萌出を見つけたら —上顎第一大臼歯異所萌出対処について考える—」  
佐藤 厚 先生（さとう子ども歯科）

#### 歯科衛生士のための研修セミナー

1. 「妊娠期からの齲蝕予防への取り組み」野本知佐 先生（ちあーず歯科・小児歯科）
2. 「歯科衛生士がかかわる子どもの定期的支援 —定期的に来院させるために—」  
小田裕子 先生（おおの小児矯正歯科）

当日会費：歯科医師 5,000円 衛生士・その他 2,000円

大会事務局：〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1

九州歯科大学口腔機能発達学分野内

第27回日本小児歯科学会九州地方会大会準備委員会事務局

TEL 093-582-1131(内線1906) FAX 093-583-5383

E-mail: [nishida@kyu-dent.ac.jp](mailto:nishida@kyu-dent.ac.jp)

## 平成20年度 日本小児歯科学会一般公開講座 開催報告

平成20年度一般公開講座は、有限責任中間法人 日本小児歯科学会の研究成果を国民の皆様に分かりやすく公開するという主旨により、文部科学省科学研究費補助金の交付を受けて、平成20年11月22日(土)に沖縄コンベンションセンターで開催されました。

今回の公開講座は、第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の前日に開催され、専門医の申請・更新時に必要な教育研修単位(5単位)にも該当したため、約200名の先生方にご参加いただきました。

「口から育つところと身体 ー良くかむことは健康を育むー」を総合テーマとして、朝田芳信理事長には「乳歯を大切に理由」、品川光春副理事長には「子ども期の歯と口の健康と機能の大切さについて」、嘉ノ海龍三監事には「歯ならびについて」、それぞれ意義深いご講演をして頂き、また参加者を交えての活発な総合討議が行われ、盛況のうちに終了することができました。これも一重に高嶺明彦会長はじめとする社団法人 沖縄歯科医師会の皆様、ご講演を担当されました朝田芳信理事長と学会役員ならびに学術委員会の皆様、九州地方会を担当されました福岡歯科大学、公開講座運営担当の鹿児島大学と九州地方会会員の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

(副理事長(学術委員長) 山崎要一 記)



## 第28回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会案内(予定)

開催日時	平成22年(2010年)10月3日(日)
開催地	福岡市
テーマ	『親子に優しい小児歯科』
企画	教育講演とシンポジウムが中心
留意点	平成22年度は全国大会が春季と秋季の2回開催されますので、一般演題につきましては『認定医あるいは専門医更新のための発表演題』といたします。

## 平成20年度 有限責任中間法人 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

収入	単位:円
前年度繰越金	2,203,313
日本小児歯科学会より入金	767,000
第26回日本小児歯科学会九州地方会余剰金	52,469
預金利息	2,242

---

合計 3,025,024

支出	
ニューズレター印刷費	75,000
第26回日本小児歯科学会九州地方会大会援助費	500,000
第26回日本小児歯科学会九州地方会大会沖縄開催援助費	500,000
通信費	18,630
文具費	126,076
会議費	45,614
雑費(振込手数料)	1,680
繰越金	1,758,024

---

合計 3,025,024

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 本川 渉

会計監査 有田 信一

## 第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会 収支決算書

【単位：円】

区分	項目	金額	備 考
収入 の 部	学 会 参 加 費	1,107,000	(5,000×187名)(2,000×86名)
	援 助 金 ( 1 )	500,000	日本小児歯科学会本部より
	援 助 金 ( 2 )	500,000	日本小児歯科学会地方会より
	広 告 料	800,000	抄録集広告掲載・商業展示料
	懇 親 会 参 加 費	177,000	(3,000円×59名)
	抄 録 集 販 売	1,500	(500円×3冊)
	そ の 他 収 入	395	利息
	収 入 合 計	3,085,895	
支 出 の 部	会 議 費	78,092	役員会議費等
	印 刷 費	458,610	ポスター・抄録印刷代他
	通 信 費	120,638	通信連絡費等
	講 演 料	1,035,000	謝礼、宿泊・交通費(8名分)
	学 会 会 場 ・ 設 営 費	1,023,629	学会会場使用料(振込手数料含む)
	懇 親 会 会 場 ・ 設 営 費	102,060	懇親会会場使用料(振込手数料含む)
	雑 費	55,397	写真現像代、通訳代(振込手数料含む)
	交 通 費	160,000	8名分(研修医・大学院生に2万円/人を援助)
	支 出 合 計	3,033,426	
差 引 余 剰 金	52,469		

監査日：平成21年6月24日

上記項目に関し、監査を行い問題ないことを証明する

監査人：有田信一

監査人：本川 渉

## 平成20年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

日時：平成20年11月22日(土) 16:30より

場所：沖縄コンベンションセンター会議室B6・7

出席者：野中、牧、久芳、本川、藤原、山崎、西田、尾崎、星野、早崎、山口、空田、國武、一瀬、  
逢坂、木船、井上、豊島、竹島、橋本、梅津、品川、奥、有田、中村

欠席者：田口

(敬称略)

### 報告事項

- 1) 第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、福岡歯科大学本川大会長より報告が行われた。
- 2) 第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、九州歯科大学牧大会長より報告が行われた。大会は平成21年11月22日(日)に九州歯科大学の講堂および本館にて開催され、準備委員長は九州歯科大学西田郁子先生であること。また、当日昼に懇親会が、前日に役員会が開催される予定であること。
- 3) 障害児委員会アンケート九州地区名簿の件について、橋本理事より報告が行われた。各県代表幹事の協力により名簿作成が終了していること。障害児委員会本部への提出が遅れているが、早急に提出予定であること。また、名簿の一部訂正があった。
- 4) 平成20～21年度九州地方会役員名簿について、野中会長より報告と確認が行われた。理事長推薦理事として、品川光春先生と奥 猛志先生が紹介された。
- 5) 日本小児歯科学会県代表委員について、野中会長より報告と確認が行われた。前回から引き続き、九州地方会県代表幹事が日本小児歯科学会県代表委員となること。福岡県代表委員は空田幹事となった。
- 6) その他
  - ① 奥理事より日本小児歯科学会認定歯科衛生士制度についての報告が行われ、申請についての案内があった。
  - ② 品川理事より医療委員会からの報告が行われた。
  - ③ 山崎幹事より公開講座の無事終了の報告が行われた。また、鹿児島大学の大学代表幹事について、齋藤一誠先生から早崎治明先生への変更依頼があった。(変更に関しては審議決定された。)
  - ④ 有田監事より各大学宛に歯内治療のアンケート依頼があった。
  - ⑤ 梅津理事より地方会連絡協議会からの報告が行われた。

### 審議事項

- 1) 第26回日本小児歯科学会九州地方会総会について  
野中会長より説明が行われ、承認された。
- 2) 第26回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について  
野中会長より説明が行われ、承認された。
- 3) 九州地方会会則の変更について  
中村幹事より事務局の変更について説明され、承認された。
- 4) 長崎小児歯科臨床医会の専門医委員会への申請について  
有田監事より長崎小児歯科臨床医会についての説明と、同会を研修単位に該当する地域研修会に申請する旨要望があり、承認された。  
また國武幹事より、平成20年4月より専門医委員会にて認定されている福岡小児歯科集団会についての報告と説明があった。  
野中会長より、上記2つの地域研修会について案内や活動報告の要請があった。

## 平成21年度 日本小児歯科学会九州地方会事業計画

### 1. 会員関係

#### 会員の入退会

会員の入会、退会につき親学会と連携、協力を行う。

小児歯科を標榜の開業医の入会勧誘に努める。

### 2. 機構整備

#### 機構整備に関する検討

#### ① 会の機構、組織および運営に関する検討

本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う。

#### ② 諸規則の検討

諸規則、諸規定の検討、策定し整備を図る。

### 3. 学術関係

#### ① 日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催。

#### ② 小児歯科学の研鑽と啓発のための勉強会や研修会を企画する。

### 4. 専門医・認定医制度関係

親学会と連携しセミナーの開催等健全なる運営、管理が出来るよう協力する。

### 5. 広報関係

#### ① ニュースレターの発行

本会会務運営の会員への伝達、周知に努める。

#### ② ホームページの更新

親学会が運営するホームページの更新に協力する。

### 6. 各地方会との協議及び連携

#### 地方会連絡協議会への出席

各地方会間の連絡、地方会の問題等を協議し連携を図る。

### 7. 小児医療の連携

こども健康週間等への協力に努める。

### 8. その他

## 講座紹介

### 九州歯科大学機能育成制御学講座口腔機能発達学分野

九州地方会会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。今回は貴重な一頁をいただきまして本分野の紹介をさせていただきます。

九州歯科大学は大正3年に私立九州歯科医学校として開学した非常に歴史と伝統のある大学ですが、口腔機能発達学分野(旧小児歯科学講座)は昭和54年に開設された比較的新しい分野です。平成17年に初代の木村光孝教授御退官後、平成18年より牧 憲司教授が当分野の主任教授に就任しております。

現在の医局員は牧教授以下、西田講師、藤田・森川・佐伯助教、大学院3年橋口、2年榎本・母里、1年永井・中川・中村、臨床研修医秋築・阿部・富田・長尾・原・半田・前田・村上・山根の計20名で構成されています。私たちは本大学の理念でもある「高度の専門性を持った歯科医師の育成、地域の中核的役割を果たす、歯科医学を支える研究の推進」を3本柱とし、教員自身のCBT、OSCEそして国家試験に対する意識の強化と知識の向上、最先端医療の充実と地域医療への貢献、そしてより質の高い研究成果の発表と外部競争資金の獲得を目指して日々精進しております。また本年度より助教の佐伯、大学院生の永井、さらに9名の臨床研修医が新たに入局し、非常に活気あふれる分野となっています。

さて本年9月27日、九州歯科大学講堂におきまして専門医・認定医合同セミナーを開催する運びとなりました。セミナー開始前には本大学の麻酔科の先生をお呼びして「小児の救急蘇生法講習会」を開催いたします。さらに11月22日には第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を同じく本大学で開催予定です。さばし矯正歯科の佐橋喜志夫先生と九州歯科大学画像診断学分野の森本泰宏先生による特別講演、テーブルディスカッション、歯科衛生士のための研修セミナー等非常に充実したプログラムを準備いたしましたので医局員一同、皆様多数のご参加を心よりお待ちしております。

私たち医局員は教育、臨床、研究に専念し、その成果を社会に還元できるよう邁進いたします。今後ともご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

(文責・口腔機能発達学分野医局長：藤田優子)

## 福岡小児歯科集談会 近況報告

福岡市および近隣を中心に60名弱の歯科医師会員を持つ、福岡小児歯科集談会です。歯科医師の個人会員に加えて、医院会員という形での入会も受け入れていますので、歯科衛生士をはじめとするスタッフの参加も多いスタディグループです。

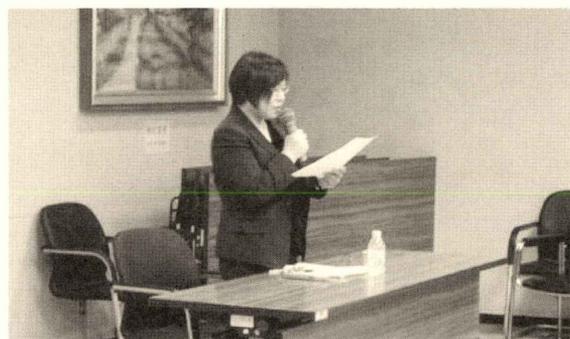
現在の活動は、6月の講演会、7月のスタッフ向け講演会・講習会・懇親会、10月の総会・講演会を定例的に催しています。また、現在は年1回のニュースレターを発行しています。不定期ではありますが、これらの活動のために役員会を開いて計画を推し進めています。私は昨年総会で会長に推挙され、引き受けさせていただいています。

不慣れなこともあって、今年は講演会が7月にずれ込んだのですが、「子どもの心と体の育ちと食環境」と題して、福岡市東区の杉の子保育園園長の勝野亨子先生に講演をお願いいたしました。スタッフの方々の参加も多く、なかなか盛況な講演会となりました。國武前会長のご尽力で、集談会の講演会は、日本小児歯科学会専門医・認定医制度における単位として認定されるようになりました。

会の方向性は、まずは役員メンバーと一緒に考えていかねばなりません。定例の活動はもちろんのこと、会の持つホームページ「子どもの歯Q&A」を通して市民や会員への情報発信やリンクを充実させるのが、時代的にも重要ではないかと考えています。また、会員の中には全国および九州地区の小児歯科学会、福岡県市歯科医師会レベルでご活躍の先生方もいらっしゃいますので、最新の情報を会員の皆様にお伝え出来るパイプの役割が必要です。

九州小児歯科集談会時代から30年近くの歴史がありますので、多くの先生方が役員を歴任されました。今後は、やはり若い先生方の入会や役員への参加を通して、これからの小児歯科を柔軟に考える方向性が出てきて欲しいと望んでいます。

文責 福岡小児歯科集談会会長 二木昌人（ふたつき子ども歯科）



## 長崎小児歯科臨床医会 近況報告

長崎小児歯科臨床医会会長 行 成 哲 弘

皆様、こんにちは。本年度6年間長崎小児歯科臨床医会を率いていただいた有田信一前会長より役員が交代しました。現在は長崎県下の17名の開業医と大学会員として長崎大学歯学部小児顎口腔発達管理学分野(旧 歯学部小児歯科)藤原 卓教授以下、在局医局員を迎えて活動しています。開業医の内訳としては指導医2名、専門医8名、認定医4名、その他、小児歯科に多大な興味がある3名の歯科医師です。毎月の例会では大学会員も含んだ会員が順番に興味深い症例、研究等を発表する形式と、ひとつのテーマで数人による発表という形式を新たに始めました。開業すると、なかなか他の歯科医の診療を見る機会がなくなります。そこで他の小児歯科ではどうだろうと言う素朴な疑問や役立つ情報について数人で答える形式を取っています。それぞれの出身大学で受けた教育の違いにより、当たり前と思っていたことの他に別の方法を知り、新鮮な驚きを覚えることも多々あります。5月に6名の会員が行ったテーマ発表「保険装置の有効性について」をまとめ、日本小児歯科学会で発表予定です。今後も長崎小児歯科臨床医会として、学会等で発表することもあると思いますので皆様のご意見をいただければ幸いです。

毎年9月にはコ・デンタルスタッフも参加して年次集会を行っています。本年度も9月17日に開催しました。講演とコ・デンタルスタッフによる発表という形式で行っており、今後増えると思われる日本小児歯科学会認定歯科衛生士の資格取得に関する発表等もあり、今年も成功裏に終わりました。

通常の会員の連絡、意見交換等にはメーリングリストを積極的に利用し、とても役立っています。会員のための掲示板としてホームページも開設しており、例会報告、発表内容、テーマ発表の予定等を掲載しています。例会に出席出来なかった会員でも内容が把握しやすいようになっています。将来は長崎小児歯科臨床医会として一般市民へ情報の発信が出来るようにと考えています。

なお医療団体として乳幼児医療費助成制度の改善と国による無料制度創設を求める「こども医療長崎ネット」にも参加し、代表を送り活動しています。今後とも長崎小児歯科臨床医会をよろしく願います。



## 九州地区5大学講座一覧

大学講座名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
福岡歯科大学成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野	本川 渉	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻展開医療科学講座 小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本 1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
九州大学大学院歯学研究院口腔保健 推進学講座 小児口腔医学分野	野中 和明	812-8582	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-6400	092-642-6468
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻発生発達成育学講座 小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1	099-275-6262	099-275-6268
九州歯科大学健康促進科学機能 育成制御学講座 口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴 2-6-1	093-582-1131	093-583-5383

## スタディグループ一覧

スタディグループ名称	会長名	郵便番号	連絡先住所	電話番号	FAX	E-mail adress
長崎小児歯科臨床医会	行成 哲弘	859-0301	長崎県諫早市長田町2422-1 なかむら歯科医院 中村則子	0957-23-9066		
熊本小児歯科懇話会	逢坂 亘彦	862-0950	熊本市水前寺 1-17-32 石本ビル2F たんぼほ小児歯科内	096-384-0020	096-384-0020	
佐賀小児歯科研究会	森永 太	849-0935	佐賀県佐賀市八戸溝 3-8-2 うめづ歯科・小児歯科医院 梅津 哲夫	0959-30-2555	0959-30-5566	tetuo.ume@nifty.com
鹿児島小児歯科臨床研究会	濱崎 栄七	892-0828	鹿児島市金生町 1-10	099-222-6834	099-222-6834	
鹿児島ピド・グループ	坪水 良平	892-0014	鹿児島市草牟田 1-15-24	099-224-6773	099-224-6773	
北九州市小児口腔保健学会	木村 光孝	803-0835	北九州市小倉北区井堀 1-23-28	093-581-0198	093-581-0198	
福岡小児歯科集談会	二木 昌人	810-0022	福岡市中央区薬院 4-1-26 薬院大通りセンタービル 2F ふたつき子ども歯科	092-523-7560	092-523-7540	fc-dental@san.bbq.jp
NPO 法人 「ウェルビーイング」	西本美恵子	810-0041	福岡市中央区大名 1-15-24 Well-Being BLDG 2F	092-771-5712	092-741-8037	jimukyoku@well-being.or.jp
月曜会	砥上 照美		福岡市南区花畑 3 丁目 17-12	092-565-1216	092-565-1216	
宮崎小児歯科臨床懇話会	旭爪 伸二	880-0872	宮崎市永楽町 207-1 わかば小児歯科医院内	0985-27-2003	0985-25-1047	wakaba@miyazaki-catv.ne.jp
宮崎障害者歯科懇談会	安部 喜郎	887-0012	宮崎県日南市園田 1 丁目 1-16 安部歯科医院	0987-23-6878	0987-23-8950	boroishi@ybb.ne.jp
沖縄小児歯科研究会	比嘉 良喬	930-0806	那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカス MB 1 号室 くぼがわ歯科医院	098-887-6480	098-887-6480	milkyway.6480@utopia.ocn.ne.jp

## 平成20～21年度日本小児歯科学会九州地方会役員

会 長	野中 和明 (九州大学)	豊島正三郎 (鹿児島県)
副 会 長	牧 憲司 (九州歯科大学)	竹島 勇 (沖縄県)
	久芳 陽一 (福岡県)	西田 郁子 (九州歯科大学)
常任幹事	本川 涉 (福岡歯科大学)	尾崎 正雄 (福岡歯科大学)
	藤原 卓 (長崎大学)	星野 倫範 (長崎大学)
	山崎 要一 (鹿児島大学)	早崎 治明 (鹿児島大学)
	牧 憲司 (九州歯科大学)	山口 登 (九州大学・会計担当)
	野中 和明 (九州大学)	中村 由紀 (九州大学・庶務担当)
幹 事	空田 安博 (福岡県・広報担当)	地方会推薦理事
	國武 哲治 (福岡県)	橋本 敏昭 (九州地方会推薦理事)
	一瀬 暢宏 (佐賀県)	梅津 哲夫 (九州地方会推薦理事)
	田口 知義 (長崎県)	品川 光春 (理事長推薦理事)
	逢坂 亘彦 (熊本県)	奥 猛志 (理事長推薦理事)
	木舩 敏郎 (大分県)	監 事 有田 信一 (長崎県)
	井上浩一郎 (宮崎県)	本川 涉 (福岡歯科大学)

### ■編集後記

小泉改革により社会保障費が毎年2,200億円ずつ削減されて来ました。そのために、最近医療崩壊がマスコミに取り上げられるようになりました。8月30日第45回衆議院議員選挙の投票が行われ、民主党の圧勝により政権交代が実現しました。今度こそ、社会保障制度改革に対する政治の流れを変革するチャンスではないでしょうか！各会員様の意見を九州地方会事務局までお寄せ下さい。

(広報担当幹事 空田安博)

平成20年度日本小児歯科学会九州地方会事務局  
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1  
九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野内  
TEL：092-642-6400 FAX：092-642-6468